



6 林 業

項 目	作 業 内 容
<p>(1) 豪雨後に林道や作業道を通行する際の注意点</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豪雨後に林道や作業道を通行する際の注意点</li> <li>○排水施設の管理</li> <li>○危険箇所の周知や管理者等への連絡</li> </ul> <p>本年8月、石川県等での大雨により、多数の山崩れや土石流等が発生したのは記憶に新しいところである。また、例年9月は台風による強風雨が発生しやすい時期である。林業において大変重要なインフラである林道や作業道（以下、林道等という。）と、豪雨等の関係や管理について解説していく。</p> <p>豪雨や強風により、路肩が崩れたり倒木する可能性がある。豪雨の後には通常よりも速度を落とし、路面や周囲に注意して走行する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1 林道の崩れた路肩</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2 作業道のクラック (ひび割れ)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真3 林道の風倒木</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真4 林道の法肩 (今にも倒れてきそうな雑木)</p> </div> </div>

項 目	作 業 内 容
<p>(2) 排水施設の管理</p>	<p>連続降雨によって土砂が多量の水分を含み、状態が不安定になりやすい。切り取り高が高い箇所や流れ盤、風化が進んだのり面などでは崩壊や落石に注意する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>写真5 “流れ盤” ののり面                      写真6 風化が進んだのり面</p> <p>林道等の災害発生要因の一つに、暗きょ排水や側溝の閉塞（目詰まり）がある。普段から自動車にクワなどを積んでおき、排水施設に土砂や枝葉が目詰りしていたら取り除き、林道等の災害を未然に防止することが望ましい。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>写真7 ヒューム管（土砂流入）                      写真8 土砂が堆積した側溝</p> <p>(3) 危険箇所の周知と管理者等への連絡</p> <p>林道等で危険な箇所を発見したら、よく目立つテープなどで目印を付け、他の利用者に注意喚起を促す。また、必要に応じて森林組合や役場等に状況を報告し、林道等が良好な状態を維持できるよう努める。</p>

(作成 林業研究センター)